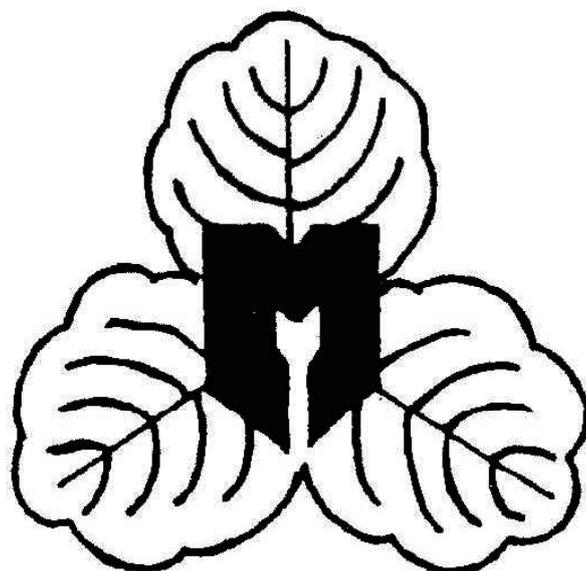


# 学校要覧

令和3年度



## 和歌山県立和歌山盲学校

〒649-6338

和歌山市府中949番地の23

TEL (073)461-0322(代表)

FAX (073)461-0323

URL <https://www.wakayama-sb.wakayama-c.ed.jp>

e-mail [postmaster@wakayama-sb.wakayama-c.ed.jp](mailto:postmaster@wakayama-sb.wakayama-c.ed.jp)



# 和歌山県立和歌山盲学校校歌

松本富穂 作詞  
高井良純 作曲

1. 黒潮あらう南海に 花橘のかおる故里（くに）  
内に豊けく六ツ星の 光かかげし若人の  
清き理想は火と燃えて 今洋々の航路（みち）を往く
2. 伏虎の森のみどりかげ 開く文化の花の園  
われらが幸は同胞（はらから）の 歩みのあとに結びゆく  
みのりを摘みて永久（とことわ）に 希望に生きん喜びぞ
3. 彼岸ははるかへだつとも 学びの道にまっしぐら  
いそしむ行手明朗の 理知と平和の光あり  
人の運命（さだめ）をかこつなく 雄々しく起（た）たんもろともに

## 目 次

1	学校沿革	2
2	教育目標	6
3	人権教育	8
4	各部の概要	9
5	教育課程表	10
6	日課表	14
7	年間行事計画	15
8	校務運営組織	16
9	教職員数	17
10	課外クラブ活動	17
11	学校施設	18
12	校舎等の配置図	19
13	幼児・児童・生徒数	20
14	眼疾別幼児・児童・生徒数	21
15	幼児・児童・生徒出身地	23
16	幼児・児童・生徒年齢構成	23
17	令和2年度進路状況	24
18	視覚支援センター	25
19	寄宿舍	26
20	スクールバス運行表	28

# 1 学校沿革

設 立	大正 4年 4月 1日	紀伊教育会が大正天皇即位記念事業として盲学校を設立
校 長		校長 藤山竹一 訓導 辻本与次郎・辻本しづ
		旧和歌山城内 1 番丁 1 番地の紀伊教育会館を教室に使用
発 足	大正 5年 4月 1日	入学者盲生 5名、湯川守一訓導担当
創 立	大正 7年 4月 1日	県立に移管され、和歌山県立盲啞学校創立
		辻本与次郎 校長に就任（第 1 代）
開 校 式	大正 7年 4月 20日	開校式挙行
卒 業 式	大正 8年 3月 26日	訓盲部第 1 回卒業式
省 令	大正 12年 8月 28日	盲学校及び聾啞学校令公布
新 築	大正 14年 3月 20日	市内真砂丁 2 丁目に、寄宿舍に引き続き校舎落成 記念式典挙行
校 長 異 動	昭和 9年 7月 1日	校長辻本与次郎東京市へ出向し、金成甚五郎 校長に就任 （第 2 代）
全 国 大 会	昭和 9年 7月 26日	本校主管により、全国盲啞教育研究大会開催
全 焼	昭和 20年 7月 9-10日	空襲により校舎、備品の一切を焼失、臨時休業に入る
授 業 再 開	昭和 20年 9月 1日	市内 2 か所の寺院で通学生のみ授業再開
仮 校 舎	昭和 21年 2月 1日	海草郡西脇野村公民館と磯の浦海浜道場を校舎、夜は寄宿舍 とし全生徒を戻す。
義 務 制	昭和 23年 4月 1日	小学部 1 年から義務制が学年進行により実施
小・中・高等部	昭和 23年 4月 1日	従来の初等部・中等部を廃して、小学部、中学部、高等部 設置
盲、ろう分離	昭和 23年 4月 1日	県告示により、県立盲啞学校を改め、各々県立和歌山盲学校、 県立和歌山ろう学校に分離、盲学校長に金成甚五郎就任
校舎新築移転	昭和 23年 9月 1日	市内湊通り 1 丁目、旧和高女跡の校地 2,500 坪に校舎・寄宿 舎等 445.5 坪を新築し移転
盲ろう児施設	昭和 24年 10月 1日	寄宿舍を児童福祉法に基づく盲ろう児施設に移管し、六星寮 として発足
校 長 異 動	昭和 25年 5月 1日	野間実男 校長に就任（第 3 代）
弱 視 学 級	昭和 26年 2月 1日	小学部・中学部に弱視学級を設置
認 定	昭和 26年 3月 31日	法律に基づく、はり師・きゅう師・あん摩師の養成学校とし て認定
寄宿舍落成	昭和 29年 6月 28日	寄宿舍 9 6 坪新築、落成式挙行
認 可	昭和 30年 3月 31日	養成学校認定基準に基づき、理療科専攻科第 2 部を文部大臣 認可
スクールバス	昭和 30年 9月 1日	盲ろう学校通学バス運転開始（ろう学校と共用）
増 築	昭和 30年 11月 14日	講堂兼体育館落成
記 念 式 典	昭和 34年 3月 5日	創立 4 0 周年記念式典挙行（ろう学校と共催）

校長異動	昭和35年 4月 1日	佐野進三 校長に就任（第4代）
全国大会	昭和37年11月 1日	本校主管により全国盲学校点字・珠算競技大会開催
校長異動	昭和38年 4月 1日	池本高明 校長に就任（第5代）
現校舎移転	昭和40年 2月24日	現校舎建築起工
移転	昭和40年11月20日	現校舎に移転完了、専用スクールバス運転開始
完工式	昭和41年 2月 7日	新校舎完工式挙行
高等部普通科	昭和41年 4月 1日	高等部に普通科設置
全国大会	昭和42年 7月20日	本校主管により全国盲学校体育大会（陸上競技）を紀三井寺陸上競技場で開催
校長異動	昭和43年 4月 1日	松本富穂 校長に就任（第6代）
記念式典	昭和43年11月20日	創立50周年記念式典挙行
寄宿舍増築	昭和44年10月13日	寄宿舍に女子棟増築完工
幼稚部設置	昭和46年 4月21日	幼稚部設置、授業開始
増築	昭和47年 6月29日	幼稚部教室、高等部普通科教室等増築
増築	昭和47年10月 8日	高等部普通科教室2室、生徒昇降口増築完工
歩行訓練道路	昭和48年 3月31日	盲人歩行基礎訓練道路3か年計画で完成
学則改正	昭和48年 4月 1日	高等部に本科保健理療科及び専攻科理療科設置
暖房設備	昭和49年12月11日	小中学部棟（3月31日）に引き続き、管理棟にも暖房設備完工
プール等	昭和51年 3月31日	プール等の新設工事完工
高特別学級	昭和51年 4月 1日	高等部に重複障害児（者）学級設置
増築	昭和53年 3月31日	重複障害児教室（小・中学部）増築完工
校長異動	昭和53年 4月 1日	上岡正直 校長に就任（第7代）
記念式典	昭和53年11月18日	創立60周年記念式典挙行
全国大会	昭和54年 8月1-3日	本校主管により第54回全日本盲学校教育研究大会を高野山大学で開催
新体育館	昭和55年 5月27日	新体育館完工（3月31日） 竣工式挙行
安全設備	昭和56年 3月31日	校内に点字タイル、手すり等設置、照明設備改善
幼稚部4歳児	昭和56年 4月 1日	4歳児保育開始
増築	昭和57年 3月31日	本館1・2階及び寄宿舍に肢体不自由児（者）トイレ増築
運動場等	昭和58年 3月31日	運動場の整備、ローラースケート場の完工
校長異動	昭和58年 4月 1日	吉岡和夫 校長に就任（第8代）
幼稚部3歳児	昭和59年 4月 1日	3歳児保育開始
校長異動	昭和62年 4月 1日	中根士郎 校長に就任（第9代）
寄宿舍スプリンクラー	昭和63年10月12日	寄宿舍スプリンクラー設置
記念式典	昭和63年11月12日	創立70周年記念式典挙行
校長異動	平成元年 4月 1日	土井清司 校長に就任（第10代）
増改築	平成 2年 3月31日	体育器具庫（65㎡）増改築
改修	平成 2年 3月31日	歩行訓練道路を改修
認可	平成 2年 4月 1日	専攻科に保健理療科を設置（文部大臣による学校認可）

措置換え	平成2年4月1日	六星寮（盲児施設）生8名、寄宿舍生に措置換え
改築	平成3年3月31日	寄宿舍及び食堂棟、玄関、校門改築完工
改修工事	平成4年3月13日	小・中学部教室棟外部改修
改修工事	平成4年3月31日	プール濾過機及びフェンス等改修
校長異動	平成4年4月1日	守内 章 校長に就任（第11代）
改修工事	平成4年11月11日	小・中学部教室棟内部改修
校長異動	平成5年4月1日	川口 讓 校長に就任（第12代）
改修工事	平成5年9月28日	本館・管理棟屋上防水改修
文部省指定研究	平成6年2月10日	平成4年度・5年度文部省指定特殊教育教育課程研究発表会を開催
改修工事	平成6年12月27日	本館管理棟内部改修
校長異動	平成7年4月1日	中山浩顕 校長に就任（第13代）
改修工事	平成8年3月26日	空調設備 幼・小・中学部棟改修
改修工事	平成8年3月31日	プール改修
校長異動	平成9年4月1日	松下博馥 校長に就任（第14代）
設備工事	平成9年8月29日	視覚障害児童・生徒授業支援システム導入
改修工事	平成10年3月31日	ローラースケート場改修
改修工事	平成10年3月31日	運動場改修
記念行事	平成10年4月20日	創立80周年記念事業、開校記念日ピアノ演奏会開催
改修工事	平成10年9月30日	幼稚部棟大規模改修完成
記念行事	平成10年11月21日	創立80周年記念式典挙行
委託業務	平成11年4月1日	スクールバス運行委託業務開始
改修工事	平成11年11月12日	重複教室棟大規模改修完成
新築工事	平成11年12月10日	エレベーター棟新築
改修工事	平成12年9月6日	本館1階耐震改修
設備工事	平成14年3月31日	和歌山県教育ネットワークの設置
校長異動	平成15年4月1日	恩地秀和 校長に就任（第15代）
全国大会	平成17年6月16日	第35回近畿盲学校フロアバレーボール大会（主管 奈良盲） において33年ぶりの優勝を成し遂げる
校長異動	平成18年4月1日	篠崎己喜男 校長に就任（第16代）
全国大会	平成19年6月8日	第54回近畿盲学校野球大会（主管 奈良盲）において 36年ぶりの優勝を成し遂げる
改修工事	平成19年8月31日	体育館耐震改修
記念行事	平成20年10月8日	「座談会・盲教育の昭和史一戦後を語る」開催
記念行事	平成20年11月1日	創立90周年記念式典挙行 創立90周年記念コンサート及び記念講演開催
改修工事	平成20年12月3日	歩行訓練道路改修完成
校長異動	平成21年4月1日	宮本克二 校長に就任（第17代）
改修工事	平成23年3月31日	プール改修（濾過機を含む）完成

改修工事	平成24年 3月13日	グラウンド（西側含む）改修完成
設備更新	平成24年 3月29日	給食室調理機器(一部のみ)更新
校長異動	平成24年 4月 1日	平岡 巧 校長に就任（第18代）
設備更新	平成25年 3月22日	システム1 教室機器更新
設備更新	平成26年 1月31日	システム2 教室機器更新
改修工事	平成27年11月13日	グラウンド砂場他改修完成
改修工事	平成28年 2月26日	スロープ改修完成
改修工事	平成28年 3月25日	バックネット・ポイント移設工事改修完成
校長異動	平成28年 4月 1日	坂口勝弘 校長に就任（第19代）
改修工事	平成28年10月25日	第1期空調設備（本館）改修完成
改修工事	平成28年11月14日	トイレ（本館、小中学部棟、寄宿舍）改修完成
改修工事	平成29年 3月 9日	体育倉庫改修完成
改修工事	平成29年 9月29日	第2期空調設備（南館）改修完成
改修工事	平成30年 2月28日	運動場整備工事完成
記念行事	平成30年11月3日	創立100周年記念式典挙行
		創立100周年記念行事及び記念講演開催
校長異動	平成31年 4月 1日	松下幸嗣 校長に就任（第20代）
校長異動	令和 3年 4月 1日	堂本淳也 校長に就任（第21代）

## 2 教育目標

視覚障害のある幼児児童生徒がたくましく21世紀を生きぬくために、①健康・体力の向上、②発達課題・生活課題の克服、③自主独立精神の育成と社会参加、を目指すことを目標とする。

### ○ 学校運営方針

1. 幼児児童生徒が充実した楽しい学校生活を安全におくれるよう、全職員が協力して取り組み、活力ある学校づくりに努める。
  - (1) 楽しい授業、わかりやすい授業を展開する。
  - (2) 体力の向上をめざす。
  - (3) 行事やクラブ等、集団活動を通して協力する力や社会性を育てる。
2. 幼児児童生徒の個性を的確に把握し、一人ひとりの特性に応じた指導を充実させ、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる知識、技能、態度、習慣を養う。
  - (1) 個別の教育支援計画に基づいた指導を実践する。
  - (2) 教科指導においては基礎基本となる学力の定着を図る。
  - (3) 重複障害教育の幼児児童生徒への指導においては自立活動を主とし、各教科等を合わせた指導を重視する。
  - (4) 理療科においては専門的な職業教育の充実を図るとともに卒業後の職業生活や地域生活への円滑な移行を見通した指導を実践する。
  - (5) 寄宿舎においては生活教育の充実を図る。
3. 県内唯一の盲学校としての専門性を高め、視覚障害教育のセンター的な役割を果たす。また、盲学校への更なる理解を深めるため、開かれた学校として日ごろの教育実践の成果を示し、他校や地域社会等との交流活動を推進する。
  - (1) 就学指導、教育相談、卒業後の支援活動等を行う。
  - (2) 理解啓発につながる活動に積極的に協力する。
  - (3) 県・市町村教育委員会、各学校、施設等の関係者との連携を図る。
  - (4) 居住地交流をはじめ、交流及び共同学習に積極的に取り組む。
4. 視覚障害者が地域社会において一生涯にわたり、豊かな生活ができるよう関係機関・団体等との連携を図る。また、保護者との日常的な連携を図る。
  - (1) 学校運営協議会の仕組みを活用し、福祉、労働、医療等の諸機関と連携を深める。
  - (2) 本人・保護者のニーズに応えるため連携を深める。
5. 研究研修活動を積極的に推進し、教員としての資質向上を図り、教育実践の充実に努める。
  - (1) 歩行指導、点字教育、弱視教育、情報教育等の計画的な研修を行う。
  - (2) 実践記録のまとめとしての「紀要」を発行する。

## ○ 各部の教育目標

### 〔幼稚部〕

1. あそびを通して、手と身体を育てる。
2. 人との心地よい関わりや体験的な活動を通して、豊かなことばを育てる。
3. 身近な環境や生活のなかで、さまざまな感覚を育てる。
4. 行きつ戻りつして発見することを大切に、やってみたい気持ちを育てる。
5. 子どもたちが、互いに影響し、育ち合う集団を作る。

### 〔小学部〕

1. 自分のことがわかり、自分を大切にすることを育てる。
2. 核になる体験をとおして、観察する手、いろいろなことがわかるための手と身体を育てる。
3. 学んだことをもとに、さまざまな感覚を活用し、自然環境、社会環境への興味・関心を広げる。
4. 好奇心・探究心をもち、自ら学ぶ意欲を育てる。
5. 友達と協力して、自主的に活動する力を育てる。

### 〔中学部〕

1. 人との関わりの中で、協調性と思いやりの心を育む。
2. 障害を理解する力を育てる。
3. 基礎的な学力を高め、自ら学び自ら考える力を育てる。
4. 健康な心や体をつくる態度を養う。
5. 様々な体験活動を通し、自ら行動する力を育てる。

### 〔高等部〕

1. 豊かな人格や創造力、社会性を養う。
2. 自己理解を深め、種々の困難を主体的に克服する力を養う。
3. 基礎的な学力を高め、主体的な学習意欲の伸長を図る。
4. 心身の健康を維持する態度を養う。
5. 将来の進路や職業について理解を深め、主体的に選択決定できる能力を養う。

### 〔理療専門部〕

1. 自立できる理療師を目指し、必要な知識、技能、ならびに社会性を養う。
  - (1) 学習意欲の向上をはかり基礎学力の充実を目指す。
  - (2) あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師として必要な臨床技術の習得を目指す。
  - (3) 個々の職業適性に応じた進路活動に取り組み、理療を通して社会に貢献できる力を養う。
2. たくましく自立できる健全な身体や能力を養うと共に種々の体験学習を通して豊かな情操、公正な判断力、円満な社会性を養う。

### 〔寄宿舍〕

1. 集団生活を通じてお互いの人格と権利を尊重し、思いやりと協調性を育てる。
2. 生活教育の場と捉え、自立へ向けて生活課題の克服に取り組む。
3. 安心安全な環境を確保するとともに安全教育に務める。
4. 規則正しい生活を通して、健康・体力の向上を目指す。

### 3 人権教育

#### 関係法令等

世界人権宣言  
日本国憲法  
教育基本法  
学校教育法  
和歌山県人権施策基本方針  
和歌山県人権教育方針  
和歌山県同和教育基本方針  
学校教育指導の方針と重点  
子どもの権利条約 等

#### 学校教育目標

視覚障害のある幼児児童生徒がたくましく21世紀を生きぬくために

- (1) 健康・体力の向上
  - (2) 発達課題・生活課題の克服
  - (3) 自主独立精神の育成と社会参加
- を目指すことを目標とする。

#### 人権教育の方針

自分の人権を守り、他の人の人権を守ろうとする意識・態度を育む。

#### 幼児児童生徒の実態

- (1) 多様な年齢と社会経験  
3歳児から成人まで様々な年齢層の幼児児童生徒が就学している。  
また、理療科には、本校から進学した者、高等学校から進学した者、社会人として働いた者など入学までの経緯が多様で、各人の考え方や生活様式も様々である。
- (2) 様々な視覚障害  
全盲や見え方に違いのある弱視の幼児児童生徒がいる。それぞれの生活様式は基本的に異なり、また、その障害が生じた年齢や原因によって抱える悩みや問題も一様ではない。
- (3) 様々な生活環境  
自宅からの通学が困難なため寄宿舎で生活をする者、父母として家庭を支えて生活している者、生活保護を受けている者など、生活環境も多様である。

#### 人権教育の目標

- (1) 自分の障害を理解し、受容した上で自分を大切にするとともに他人を大切にすることを育てる。
- (2) 人権についての正しい見方・考え方を育てる。
- (3) 人権を重んじ、助け合い励まし合う仲間づくりをすすめる。
- (4) 広く一般の人たちに視覚障害者やその教育についての理解を広める活動を積極的に行う。

本人・保護者の願い  
(つなぎ愛シート)

個別の指導計画

#### 各学部の具体的目標

	幼稚園・小学部	中学部・高等部	理療専門部
自己尊重の感情	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身の長所を積極的に伸ばし、自分自身を高める。</li> <li>・家族や地域の一人としての役割に気づく。</li> <li>・自分自身の目標を設定し、成し遂げられるよう努力し、達成感を味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身の長所も短所も肯定的に受けとめようとする。</li> <li>・家族や地域の一人として支えられていることに気づく。</li> <li>・様々なことに挑戦することにより達成感を感じ、さらに高い目標を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活訓練や歩行訓練などの習得を通して、積極的に生き抜く力を育てる。</li> <li>・理療の知識や技術を習得し、国家試験の合格を目指し、個々の希望や適性に応じた進路が選択できるようにする。</li> </ul>
人権感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の痛みや感情に共感するとともに、偏見、差別に気づく力を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の立場に立って考えるとともに、偏見、差別を見抜く力を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の周りの不合理に気づき、それに立ち向かう力を育てる。</li> <li>・視覚障害者の歴史や現状と課題、社会福祉の諸制度、障害者運動などを学び、人権意識を高める。</li> <li>・あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師として医療に携わるものにふさわしい人間性を身につけ、社会に貢献できる力を養う。</li> </ul>
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の気持ちに共感しながら聴き、自分の考えをまとめることができる。</li> <li>・自分の気持ちや考えを相手に分かるように伝えることができる。</li> <li>・友達との学び合いや対話を大切にし、物事をすすめようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の気持ちを考え、尊重しつつ、自分の考えをまとめる確に伝える。</li> <li>・自分の気持ちや考えを、正確にとらえ、様々な方法を活用して適切に相手に伝えることができる。</li> <li>・お互いを尊重し、対話を重視し合意を形成しながら物事をすすめようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の障害や悩みについて、みんなで考え、話し合えるようなホームルームをつくる。</li> <li>・校内弁論大会や校外臨床実習などの生徒会活動を活発に行い、自主的民主的な活動を育てる。</li> </ul>
啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や地域の行事に参加し、仲間の輪を広げる。</li> <li>・居住地校や地域校交流で、障害に対する正しい理解を求める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や地域の行事に積極的に参加し、交流をはかる。</li> <li>・居住地校や地域校交流で、障害に対する正しい理解を求める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者問題について理解を深め、自分達の障害を受容し、積極的に社会参加しようとする意識を育てる。</li> <li>・地域や職場での臨床実習を通して、多くの人たちに視覚障害者の立場や理療について理解を深めようとする姿勢を養う。</li> </ul>

## 4 各部の概要

部	科	修業年限	内 容	
幼稚部		1年、 2年又 は3年	就学前の3、4、5歳児を教育する。	
小学部		6年	義務教育であり、普通の小・中学校に準ずる教育内容。	
中学部		3年		
高等部	本 科	普通科	3年	高等学校の普通科に準ずる教育内容。
		保健理療科	3年	高等学校の職業科に準じて、保健理療に関する専門教育を行い、あん摩マッサージ指圧師となる受験資格を与える。
	専 攻 科	保健理療科	3年	高等学校、盲学校高等部普通科等の卒業生に理療に関する専門教育を行い、あん摩マッサージ指圧師となる受験資格を与える。
		理療科	3年	高等学校、盲学校高等部普通科等の卒業生に理療に関する専門教育を行い、はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師となる受験資格を与える。
入 学 資 格	<p>学 歴</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小学部・中学部（義務教育）は、小・中学校に同じ</li> <li>2. 高等部本科普通科、本科保健理療科は、中学校卒業以上のもの、又はこれと同等の学力をもつと認められたもの</li> <li>3. 高等部専攻科保健理療科、専攻科理療科は、高等学校卒業以上のもの</li> </ol> <p>視 力</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 両眼の視力（矯正）がおおむね0.3未満のもの</li> <li>2. 視力以外の視機能障害が高度で盲学校における教育が適当と思われるもの</li> </ol>			

# 5 教育課程表

## (1) 幼稚部

健 康	人間関係	環 境	言 葉	表 現	自立活動	合計(20)
-----	------	-----	-----	-----	------	--------

## (2) 小学部

学 年	普通学級						重複学級A						重複学級B						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
教 科	国 語	8	8	6	5	5	5	4	4	4	5	5	5	3	3	3	3	3	3
	社 会	/	/	2	3	2	2	/	/					/	/				
	算 数	4	5	5	5	5	5	2	2	4	4	4	4	1	2	2	3	3	3
	理 科	/	/	3	3	3	3	/	/					/	/				
	生 活	3	3	/	/	/	/	5	5	5	5	5	5	6	6	7	7	7	7
	音 楽	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3
	図画工作	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	家 庭	/	/	/	/	1	1	/	/	/	/	1	1	/	/	/	/		
	体 育	3	3	3	3	2	2	3	3	3	3	2	2	3	3	3	3	3	3
	外国語	/	/	/	/	2	2	/	/	/	/	1	1	/	/	/	/		
道 徳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
外国語活動	/	/	1	1	/	/	/	/	1	1	/	/	/	/			/	/	
総合的な学習の時間	/	/	1	1	1	1	/	/					/	/					
特別活動	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
自立活動	1	1	1	2	2	2	4	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	
合 計	25	26	28	29	29	29	25	26	28	29	29	29	25	26	28	29	29	29	

## (3) 中学部

学 年	1年	2年	3年	重複A	重複B	
教 科	国 語	4	4	3	4	3
	社 会	3	3	4	2	
	数 学	4	3	4	3	2
	理 科	3	4	4	2	
	音 楽	1	1	1	2	3
	美 術	1	1	1	2	2
	保健体育	3	3	3	3	3
	技術・家庭	2	2	1	2	2
	外国語	4	4	4	2	
道 徳	1	1	1	1	1	
総合的な学習の時間	1	2	2	2	2	
特別活動	1	1	1	1	1	
自立活動	2	1	1	4	11	
合 計	30	30	30	30	30	

(4) 高等部  
ア 本科普通科

選択型			標準 単位	A1								A2				B				C								
				文系			履修 単位数	理系			履修 単位数	1	2	3	履修 単位数	1	2	3	履修 単位数	Cコースの科目・領域について は合科・統合して指導する			履修 単位数					
1	2	3		1	2	3		1	2	3										1	2	3		1	2	3		
学年																												
国語	国語総合	4	4			4	4			4	4			4	4			4	4			4	4~2	12~6				
	国語表現	3			3	3			3	3			3	3							3	3						
	現代文A	2												◎2								2			2			
	現代文B	4		4		4		4		4		4		4		4		4		4		4						
	古典A	2							2	2				2	2													
	古典B	4		2	2	4																						
地理歴史	世界史A	2						2		2			2	2							2	2	3~0	9~0				
	世界史B	4		4		4																						
	日本史A	2						△2				2		2														
	日本史B	4			△4				2																			
	地理A	2				4			△2			2		2			2				2	2						
公民	現代社会	2	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2						
	倫理	2		2		2																						
	政治・経済	2			2	2																						
	時事問題	2										2		2														
	時事問題Ⅱ	2											◎2															
数学	数学Ⅰ	3	3			3	3			3	3			3	3						3	3	3~2	9~6				
	数学Ⅱ	4		2	2	4		4		4																		
	数学Ⅲ	5						5	5																			
	数学A	2	2			2	2			2		2		2														
	数学B	2						2	2																			
	数学活用	2												3	3			3				3			3			
	数学一般	2												◎2								3			3			
理科	科学と人間生活	2		2		2		▼2		2	2			2	2													
	物理基礎	2						▼2		2																		
	物理	4						※4	4																			
	化学基礎	2	2			2	2		2																			
	化学	4		◎2	◎2	4		●4	※4	4																		
	生物基礎	2	2			2	2		2	2		2		2		2		2		2	2	2	2	2	2			
	生物	4		◎2	◎2	4		●4	※4	4		4		4														
	地学基礎	2																										
	地学	4																										
	理科課題研究	1																										
基礎医学	2												2	2														
総合理科	2												◎2								2	2						
保健体育	体育	7~8	3	2	2	7	3	2	2	7	3	3	3	9	3	3	3	9				3	3	3	9			
芸術	音楽Ⅰ	2	▽2					▽2				▽2						2				2						
	音楽総合	2				2				2			*2	◎2				2		*2	※2	4	2	2	2	6		
	美術Ⅰ	2	▽2					▽2				▽2						2				2						
	美術総合	2											*2	◎2				2		*2	※2	4	2	2	2	6		
外国語	コミュニケーション英語基礎	2													2							2						
	コミュニケーション英語Ⅰ	3	3			3	3			3	4			4		3		3										
	コミュニケーション英語Ⅱ	4		4		4		4		4		4		4														
	コミュニケーション英語Ⅲ	4			4	4		4		4																		
	英語表現Ⅰ	2	2			2	2			2				2	2													
	英語表現Ⅱ	4		2	2	4		2	2	4																		
英語会話	2												◎2								2	2						
家庭	家庭基礎	2			2	2			2	2	2			2	2	2		4			2	2	2	6				
情報	社会と情報	2	2			2	2			2	2			2	2						2							
	総合的な探求の時間	3~6	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3				1	1	1	3			
	自立活動		1	1	2	4	1	1	1	3	2	2	2	6	4	6	8	18				15~5			45~15			
	ホームルーム	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3				1	1	1	3			
	総計		30	30	30	90	30	30	30	90	30	30	30	90	30	30	30	90	30	30	30	90	30	30	30	90		

各コース・学年において、▽、△、○、※、\*は同印より1選択。理科▼2つ選択か、●のいずれか1選択。◎は同印より4選択。

イ 本科保健理療科

学 科		本科保健理療科			履 修 単位数	
教 科 ・ 分 野 ・ 科 目 ・ 内 容		1年	2年	3年		
基礎分野	国 語	国 語 総 合	2			2
	地理歴史	地 理 A		2		2
		世 界 史 A	2			2
	公 民	現 代 社 会			2	2
	数 学	数 学 I		2		2
	理 科	科 学 と 人 間 生 活			2	2
		生 物 基 礎	1			1
	保健体育	体 育	2	3	2	7
	芸 術	美 術 I			2	2
	外国語	コミュニケーション英語 I		2		2
	家庭	家 庭 基 礎	2			2
情 報	社 会 と 情 報			2	2	
小 計		9	9	10	28	
専門基礎分野	保健理療	医 療 と 社 会		1	1	2
		人 体 の 構 造 と 機 能	12			12
		疾 病 の 成 り 立 ち と 予 防	2	2		4
		生 活 と 疾 病		5	2	7
	小 計		14	8	3	25
専門分野	保健理療	基 礎 保 健 理 療		6		6
		臨 床 保 健 理 療	1		6	7
		地 域 保 健 理 療 と 保 健 理 療 経 営			2	2
		保 健 理 療 基 礎 実 習	4	5		9
		保 健 理 療 臨 床 実 習			6	6
		課 題 研 究		1	1	2
小 計		5	12	15	32	
自 立 活 動		1		1	2	
特別活動 (ホームルーム)		1	1	1	3	
合 計		30	30	30	90	

ウ 専攻科保健理療科

学 科		専攻科保健理療科			履修 単位数	
教 科 ・ 分 野 ・ 科 目		1年	2年	3年		
保 健	基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	5	4	5	14
		小 計	5	4	5	14
理 療	専門基礎分野	医 療 と 社 会		2	2	4
		人 体 の 構 造 と 機 能	36			36
		疾 病 の 成 り 立 ち と 予 防	7	9		16
		生 活 と 疾 病		16	4	20
		小 計	43	27	6	76
		専 門 分 野	基礎保健理療		16	
	臨床保健理療	2		19	21	
	地域保健理療と保健理療経営			4	4	
	保健理療基礎実習	7	8		15	
	保健理療臨床実習			9	9	
	課 題 研 究	4	2	2	8	
	小 計	13	26	34	73	
合 計		61	57	45	163	

\*大学設置基準にて編成。

エ 専攻科理療科

学 科		専攻科理療科			履修 単位数	
教 科 ・ 分 野 ・ 科 目		1年	2年	3年		
理	基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	5	4	5	14
		小 計	5	4	5	14
療	専門基礎分野	医 療 と 社 会		2	2	4
		人 体 の 構 造 と 機 能	29			29
		疾 病 の 成 り 立 ち と 予 防	4	4		8
		生 活 と 疾 病		13	4	17
		小 計	33	19	6	58
		専 門 分 野	基礎理療学	5	7	9
	臨床理療学		9	15	24	
	地域理療と理療経営			4	4	
	理療基礎実習	12	11		23	
	理療臨床実習			7	7	
	課 題 研 究		2	2	4	
	小 計	17	29	37	83	
合 計		55	52	48	155	

\*大学設置基準にて編成。

# 6 日 課 表

## (1) 幼稚部・小学部日課表

職 員 朝 礼	8:30～ 8:35
朝 の 会	8:35～ 8:45
1 限	8:45～ 9:30
2 限	9:35～10:20
3 限	10:40～11:25
4 限	11:30～12:15
昼食・休憩	( 昼 食 )
5 限	13:15～14:00
6 限	14:05～14:50

## (2) 中学部・高等部日課表

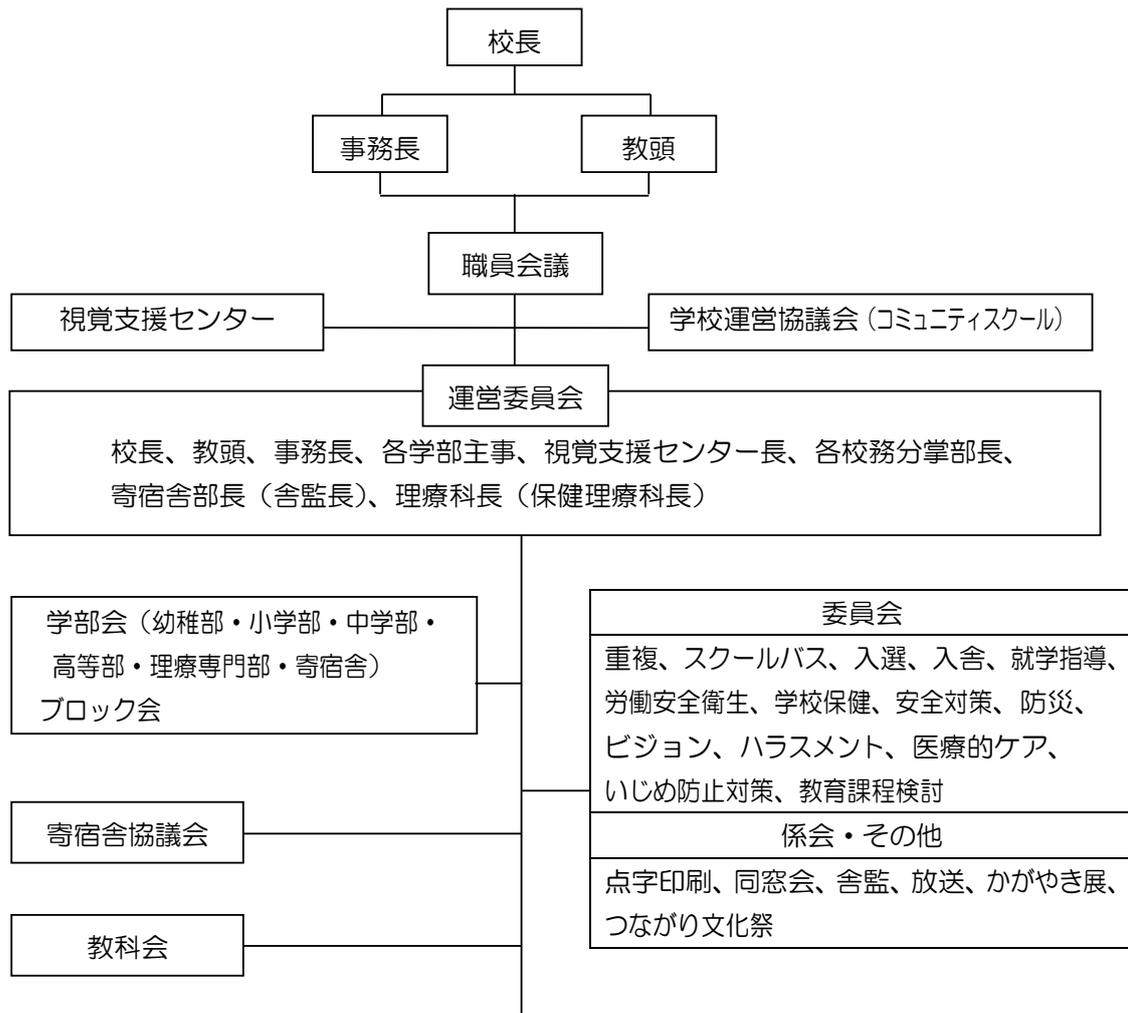
職 員 朝 礼	8:30～ 8:35
ショートホームルーム	8:35～ 8:40
1 限	8:40～ 9:30
2 限	9:40～10:30
3 限	10:40～11:30
4 限	11:40～12:30
昼食・休憩	( 昼 食 )
5 限	13:15～14:05
6 限	14:15～15:05

## 7 年間行事計画

学期	月	全体	幼稚園・小学部	中学部・高等部	理療専門部
1 学期	4月	新任式 始業式 入学式 開校記念行事		オリエンテーション	オリエンテーション
	5月			中間考査 校内弁論大会 修学旅行（高）	中間考査 校内弁論大会
	6月	校内点字競技会	遠足 芸術鑑賞（和太鼓）	校内フロアバレー大会 学部説明会 遠足 芸術鑑賞（和太鼓）	校内フロアバレー大会
	7月	終業式		期末考査 宿泊体験学習 水泳大会	期末考査
2 学期	8月				始業式 校内模試
	9月	始業式 寄宿舍祭	お泊まり保育（幼） 修学旅行（小）	宿泊学習（中）	
	10月		遠足	中間考査 県学習到達度調査 修学旅行（中）	衛生見学 中間考査
	11月	文化祭	みかん狩り	ハイキング スポーツ交流	（全国統一模試）
	12月	公開実践研究大会 マラソン大会 終業式	長距離歩行	期末考査	解剖見学 期末考査 校内模試
3 学期	1月	始業式		卒業考査	卒業考査
	2月		長距離歩行	学年末考査 校外自立活動	校内模試 学年末考査 （国家試験）
	3月	卒業式 修了式	お別れ遠足	入学者選抜学力検査 （高）	校内模試 入学者選抜学力検査

通年		校外学習 体験教室 ひよこ教室	各種実習 交流学習 体験入学	校外臨床 各種実習 体験入学
----	--	-----------------------	----------------------	----------------------

## 8 校務運営組織



校務分掌等	
教務部	教育課程、授業日数、諸調査・指導要録・出席簿、教科書、生徒名簿、校時管理、時間割、査定会資料、諸証明、定期考査、タイプライター等管理、入学試験関係
総務部	諸事務、式典、学校要覧、育友会協力、むつぼし編集
進路指導部	進路学習・進学支援、福祉的就労・就職支援、渉外協力、諸機関との連携、進路相談室運営、奨学金
環境保健部	保健・清掃、エコスクール、給食、防災、医療的ケア
研修部	現職教育・新任者研修・公開授業・公開実践研究会などの企画・運営、教育センター・全日本盲学校教育研究会・近畿盲学校教育研究会との連携、研究紀要、視聴覚機器の管理
生徒指導部	生活指導、生徒会・舎生会、クラブ活動、人権教育推進活動、点字紙等販売、文化活動基金・体育後援会、生徒証明書
情報部	校務用 PC 管理、情報教育機器管理、情報室・システム教室管理 GIGA スクール構想、きのくに ICT (プログラミング教育) きのくにアイねっと (視覚障害者支援ネットワーク)、学校 HP 管理
寄宿舎部	P26「19寄宿舎」に詳細
事務部	庶務、会計、管理、調理、スクールバス、就学奨励費

視覚支援センター構成メンバー：視覚支援センター部員、各学部主事  
必要に応じ、舎部長、養護教諭、実践者が相談活動に加わることもある。

## 9 教職員数

5月1日現在

職 名	現 員
校 長	1
教 頭	1
教 諭	41
講 師	5
非常勤講師・看護師・スクールカウンセラー	3
養護教諭	1
寄宿舎指導員	13
実習助手	4
介助職員 スクールバス	1
事務長	1
主 査	1
副主査	1
主 事	1
栄養士	1
給食員	4
校務員・学校業務補助職員・スクールサポートスタッフ	4
警備員	2
合 計	85

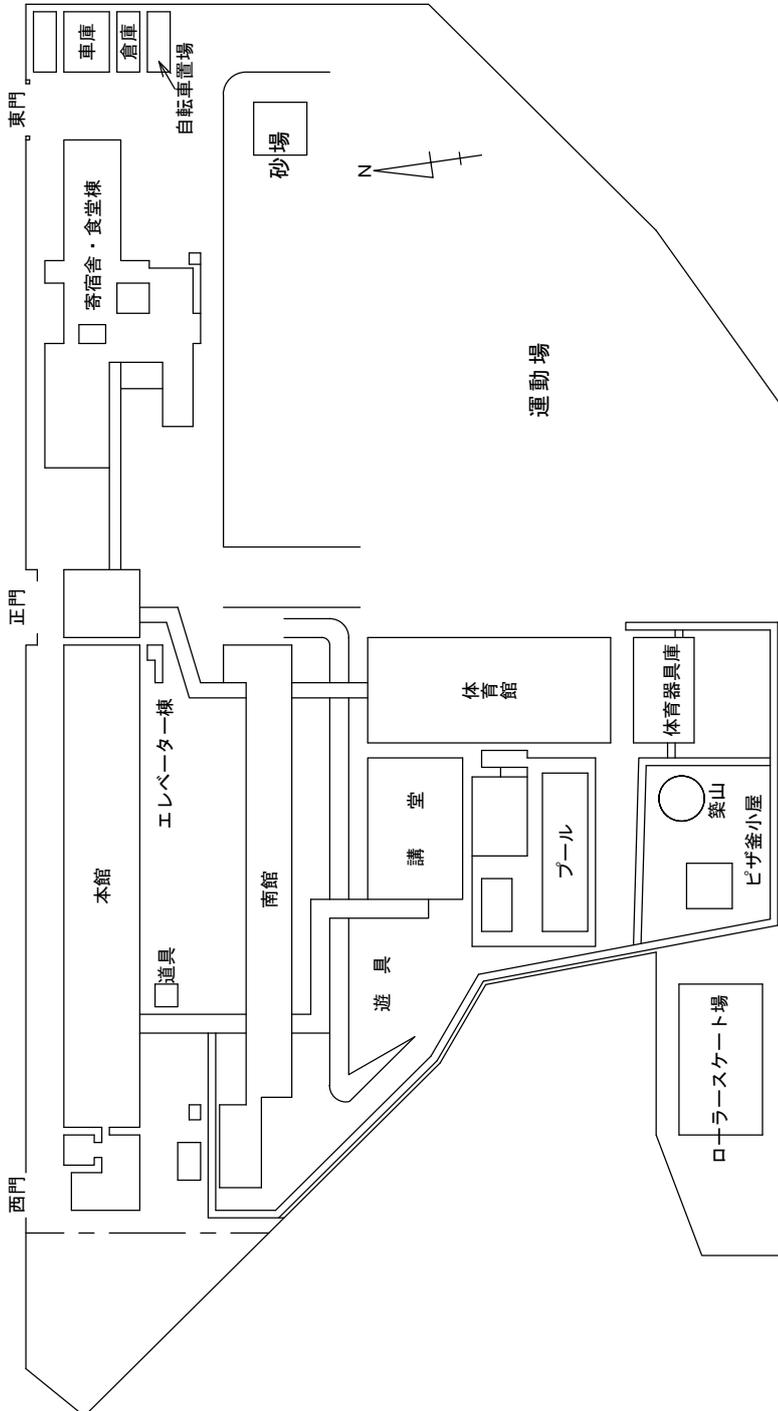
## 10 課外クラブ活動

- ・ゴールボール
- ・水泳
- ・サウンドテーブルテニス
- ・書道

# 1 1 学校施設

区分	室数	区分	室数	区分	室数	区分	室数
本館				南館			
<1階>				<1階>			
物理療法室	1	臨床検査室	1	普通教室	7	トイレ	1
臨床室	2	機能訓練室・水治療法室	1	プレイルーム	1	倉庫	1
予診室	1	点字印刷室	1	幼稚部教室	2		
待合室	1	視聴覚室	1	<2階>			
情報処理室	1	職員室	1	普通教室	10	トイレ	1
保健室	1	校長室	1	音楽室	1	システム教室2	1
会議室	1	印刷室	1	社会科教室	1	資料室	1
応接室	1	宿直室	1	寄宿舍・食堂棟			
書庫	1	校務員室	1	舎室	16	生活訓練室	1
事務室	1	休憩室	1	事務室	1	風呂	2
トイレ	2	電気室	1	警備員室	1	トイレ	4
更衣室	2	倉庫	1	寄宿舍指導員室	2	ボイラー室	1
<2階>				静養室	2	食堂	1
普通教室	8	解剖教室	1	学習室	2	厨房	1
解剖準備室	1	被服教室	1	多目的室	1	給食員更衣室	1
調理教室	1	図書室	1	洗面・洗濯室	2	給食用倉庫	1
録音室	1	理科教室	1	体育館・講堂・その他			
理科準備室	1	美術教室	1	講堂	1	車庫	1
鍼灸実習室	1	システム教室1	1	体育館	1	倉庫	1
進路相談室	1	トイレ	2	プール	1	体育器具庫	1
男子生徒更衣室	1	資料室	1	薬草園	1	木工室	1
女子生徒更衣室	1	マッサージ実習室	1	ピザ釜上屋	1	自転車置き場	1
視覚支援センター室	1	あんま実習室	1	0-ラ-カ-ト場	1	エレベーター	1
				遊具	9		

# 12 校舎等の配置図



## 施設の概要

校地	19,180㎡
校舎	3,818㎡
寄宿舍	983㎡
体育館	814㎡
講堂	287㎡
食堂・厨房	227㎡
プール	537㎡
ローラースケート場	306㎡
エレベーター	29㎡

# 13 幼児・児童・生徒数

5月1日現在

部・科	学級	在籍	性別		視力		教科書			通学区分		
			男	女	全盲	弱視	点字	デイジー	活字	通学	寄宿舍	
幼稚部	幼3歳	1	1			1				1		
	幼5歳	1	1		1					1		
	幼重	5	1	4	3	2				5		
	小計	7	3	4	4	3	0	0	0	7	0	
小学部	5年	1		1		1			1	1		
	6年	1		1		1			1	1		
	重複1・2年	3	3		1	2			3	3		
	重複4年	2	1	1		2			2	2		
	小計	7	4	3	1	6	0	0	7	7	0	
中学部	2年	1		1		1			1		1	
	重複2・3年	2		2	1	1			2	2		
	小計	3	0	3	1	2	0	0	3	2	1	
高等部	本科 普通科	1年	3	2	1	1	2	1		2	2	1
		3年	2	2			2			2	2	
		重複1・2年	3	1	2	2	1	1		2	1	2
		小計	8	5	3	3	5	2	0	6	5	3
	専攻科 保健療科 療科	2年	1	1			1			1		1
		3年	2	2			2		1	2	2	
		小計	3	3	0	0	3	0	1	3	2	1
		2年	2	2			2		1	2	1	1
		3年	1		1		1			1	1	
		小計	3	2	1	0	3	0	1	3	2	1
合計		31	17	14	9	22	2	2	22	25	6	

# 14 眼疾別幼児・児童・生徒数

調査人数 31人

幼 7人

小 7人

中 3人

高 14人

## (1) 部位と症状別分類

(※診断された疾患名を記載のため重複記載あり。合計は延べ人数。)

眼疾患と部位の症状		学部					合計
		幼	小	中	高	小計	
眼球全体	緑内障			1	2	3	12
	牛眼					0	
	小眼球					0	
	虹彩欠損		1	1	1	3	
	視神経欠損					0	
	奇形					0	
	屈折異常		1			1	
	眼球癆	1			1	2	
	白子					0	
	眼球振盪		1		1	2	
	全色盲				1	1	
その他					0		
角膜疾患	角膜軟化症					0	0
	角膜白斑					0	
	その他					0	
水晶体疾患	白内障(含術後)		1			1	1
	その他					0	
硝子体疾患	硝子体混濁					0	2
	その他				2	2	
葡萄膜疾患	葡萄膜炎					0	1
	ベーチェット病					0	
	その他		1			1	
網膜絡膜疾患	網膜色素変性症		1		1	2	18
	黄斑部変性症		1		2	3	
	網膜絡膜萎縮症					0	
	未熟児網膜症	3	2	1	3	9	
	網膜芽細胞腫					0	
	網膜剥離					0	
	糖尿病性網膜症				2	2	
その他	1			1	2		
視束視路疾患	視神経萎縮	2	1		1	4	5
	視神経炎					0	
	視中枢障害					0	
	その他	1				1	
その他	弱視	3	2	1		6	7
	その他	1				1	
合計		12	12	4	18	46	

(2) 原因別の集計

視覚障害原因		学部	学部					合 計
			幼	小	中	高	小計	
伝染性疾患	麻 疹						0	0
	脳 膜 炎						0	
	そ の 他						0	
外 傷							0	0
中 毒							0	0
腫 瘍							0	
全身病	糖尿病					2	2	3
	ベーチェット病						0	
	栄養障害						0	
	その他	1					1	
先天素因		6	6	3	10	25	25	
原因不明			1		2	3	3	
その他						0	0	
合 計		7	7	3	14	31		

## 15 幼児・児童・生徒出身地

	和歌山	伊都	那賀	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県外	合計
幼稚園部	5		1						1	7
小学部	4	1		2						7
中学部	1		1					1		3
高等部	7		1		2	2	2			14
計	17	1	3	2	2	2	2	1	1	31

## 16 幼児・児童・生徒年齢構成

年齢	3~5	計
幼稚園部	7	7

年齢	6~12	計
小学部	7	7

年齢	12~15	計
中学部	3	3

年齢	15~19	20~29	30~39	40~49	計
高等部	8	3	0	3	14

## 17 令和2年度進路状況

学部・学科名		卒業数	進学	就職			開業	福祉事業所	施設	家庭	未定	
				病院	施術所	企業						
幼稚園部	男	1	1									
	女	0										
小学部	男	0										
	女	0										
中学部	男	2	2									
	女	2	2									
高等部	本科	普通科	男	0								
			女	0								
	保健医療科	男	0									
		女	0									
	専攻科	保健医療科	男	1				1				
			女	1			1					
		療養科	男	1	1							
			女	0								
合計		8	6			1	1					

### 【進路先】

進路先		卒業生徒数	卒業生の内訳
進学	特別支援学校 小学部	1	男1
	本校 中学部	0	
	本校 高等部本科普通科	4	男2 女2
	他校 高等部	0	
	本校 高等部専攻科	0	
	他校 高等部専攻科	0	
	専門学校・大学等	1	男1
就職	病院	0	
	施術所	0	
	企業	1	女1
開業		0	
福祉事業所		1	男1
施設		0	
家庭		0	
未定		0	
合計		8	

(令和3年4月28日現在)

## 18 視覚支援センター

視覚支援センターでは、県内の乳幼児から成人までの視覚に障害がある方及び保護者、関係者の相談支援を行っています。

### 1 相談支援について

#### (1) 教育相談（見え方相談）

- ①来校相談…点字・歩行・支援機器活用 日常生活相談  
ひよこ親子教室・体験教室 わかち会
- ②巡回相談…県下全域

#### (2) 地域支援

- ①研修…研修会の企画・運営 研修会・講習会への協力
- ②広報…視覚障害理解 教材・備品の貸し出し

### 2 関係機関との連携を図る

### 3 令和2年度支援状況

地域	年齢	乳幼児		小中高生		18歳以上		計	
		件数	回数	件数	回数	件数	回数	件数	回数
和歌山	来校支援		7		7		0		14
	訪問支援	56	49	44	37	0	0	100	86
	計		56		44		0		100
伊都	来校支援		0		0		0		0
	訪問支援	22	22	25	25	0	0	47	47
	計		22		25		0		47
那賀	来校支援		0		0		0		0
	訪問支援	48	48	9	9	14	14	71	71
	計		48		9		14		71
海草	来校支援		0		0		0		0
	訪問支援	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		0		0		0		0
有田	来校支援		0		5		0		5
	訪問支援	68	75	35	30	0	0	103	105
	計		75		35		0		110
日高	来校支援		0		2		0		2
	訪問支援	11	11	18	16	1	1	30	28
	計		11		18		1		30
西牟婁	来校支援		0		0		0		0
	訪問支援	17	17	24	32	0	0	41	49
	計		17		32		0		49
東牟婁	来校支援		0		0		0		0
	訪問支援	53	53	29	29	0	0	82	82
	計		53		29		0		82
計	来校支援		7		14		0		21
	訪問支援	275	275	184	178	15	15	474	468
	計		282		192		15		489

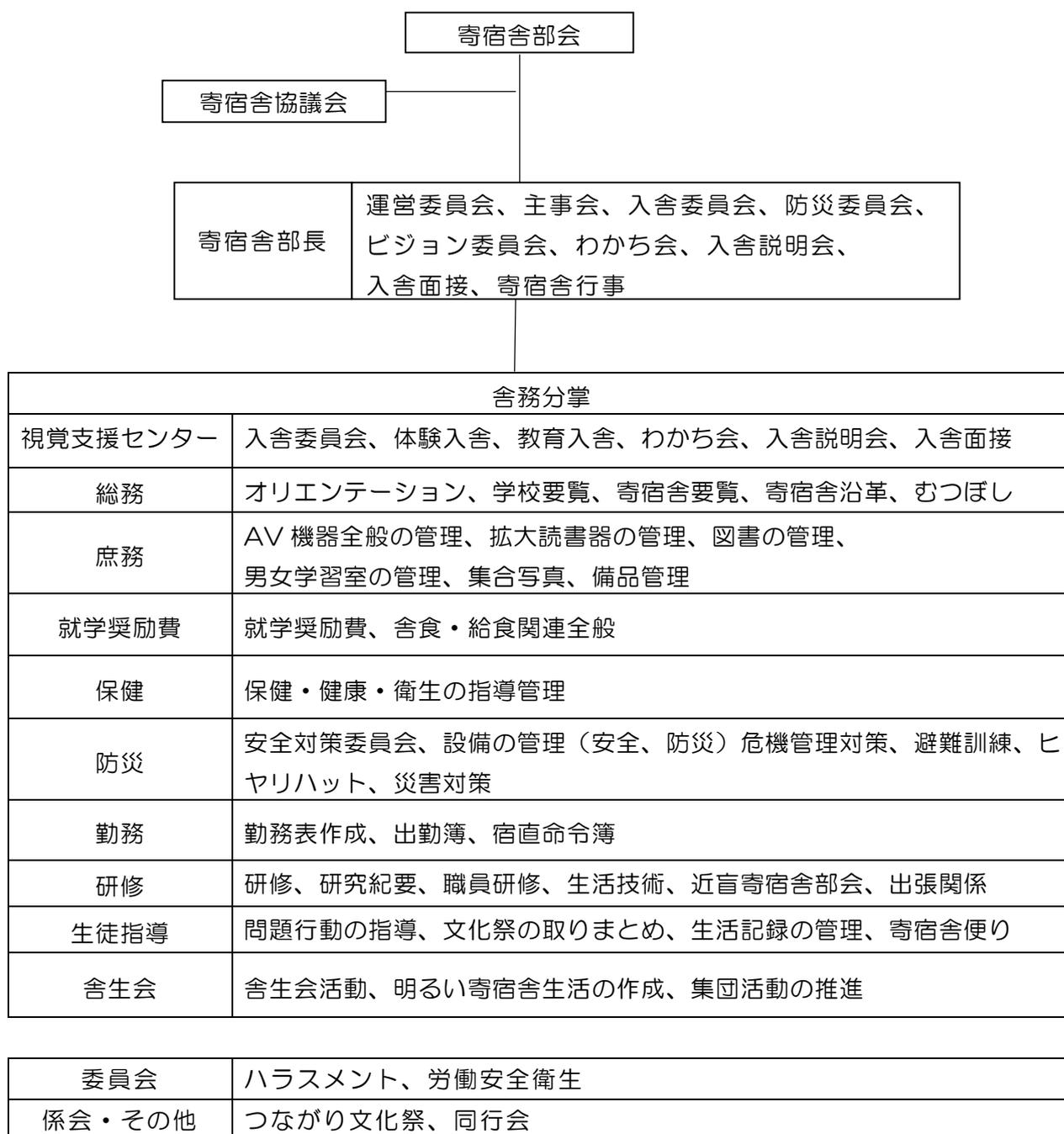
- ※ 訪問支援には、在宅リハビリテーション推進強化事業によるもの、「聞こえとことば、見え方」の相談会（盲・ろう・支援学校合同の相談会）によるもの、及びセンター的機能による相談事業での巡回相談があります。
- ※ 来校支援には、来校相談、小学部・中学部・高等部で行っている体験教室、体験入学、理療専門部の入学相談があります。
- ※ 表中の「回数」については、のべ数として計算しています。

# 19 寄宿舍

## (1) 寄宿舍の役割

通学が困難である状況を解消し、障害の状況や発達課題等に応じて適切な環境のなかで望ましい発達を図る。また、児童生徒の教育的な配慮や社会自立を生活の側面からサポートする役割を担う。

## (2) 運営組織表



(3) 教育活動と指導内容

教育活動	指導内容
生活指導	日常生活 集団生活 金銭管理 性教育
生活技術	歩行 調理 点字 掃除（整理整頓）
学 習	自習 補習 学力補充
食 育	栄養(偏食、間食) マナー
保 健	健康管理 衛生（入浴、洗濯）
自 治	舎生会（行事、選挙、大掃除等）
集 団	学部別 調理 親睦
安 全	避難訓練及び学習会（地震、火災、不審者）

(4) 年間行事予定

月	寄 宿 舎	舎 生 会
4	オリエンテーション	歓迎会 定期総会
5	部屋替え	前期役員改選
6	避難学習会 避難訓練	
7		学期末大掃除
8		
9		寄宿舍祭
10	避難学習会 避難訓練	
11		後期役員改選
12		学期末大掃除
1		
2		
3	避難学習会 避難訓練	送別会 学期末大掃除
その他	校外活動 記念撮影	

# 20 スクールバス運行表

(1) 登下校の時間帯

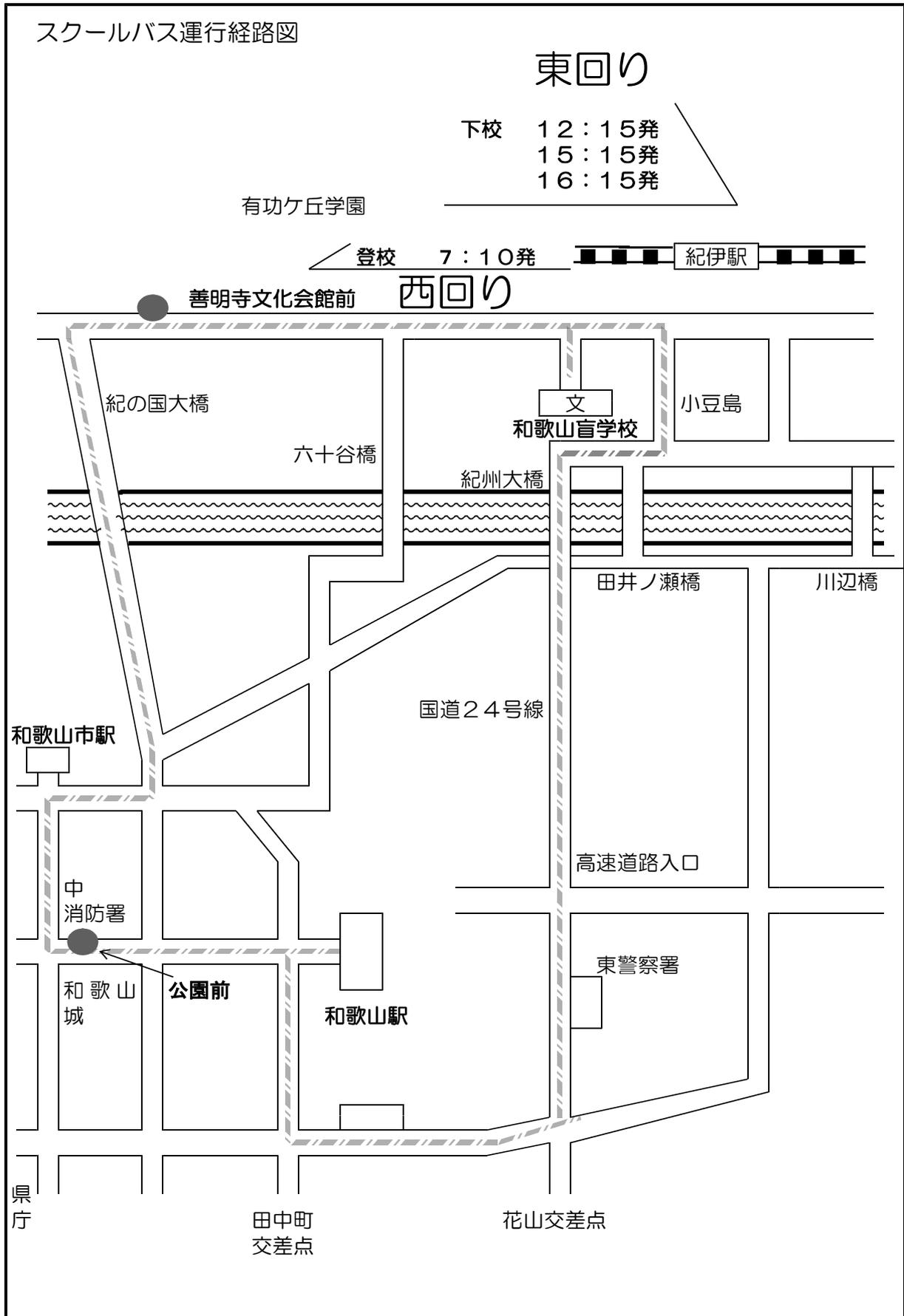
	登校	下校
時刻	<u>7:10</u> 学校 発	<u>15:15</u> 学校 発
	<u>7:25</u> 善明寺文化会館前 発 紀の国大橋 (経由)	和歌山東警察署—花山交差点 (経由) <u>15:35</u> 和歌山駅 発
乗車人員等	<u>7:50</u> 和歌山市駅 発	<u>15:40</u> 公園前 発
	<u>7:55</u> 公園前 発	<u>15:45</u> 和歌山市駅 発
	<u>8:05</u> 和歌山駅 発 花山交差点—和歌山東警察署 (経由)	紀の国大橋 (経由) <u>16:00</u> 善明寺文化会館前 発
	<u>8:25</u> 学校 着	<u>16:15</u> 学校 着
	20km	20km
		<u>16:15</u> 学校 発
		和歌山東警察署—花山交差点 (経由)
		<u>16:35</u> 和歌山駅 発
		<u>16:40</u> 公園前 発
		<u>16:45</u> 和歌山市駅 発
		紀の国大橋 (経由)
		<u>17:15</u> 学校 着
		20km
		乗車人員合計 8人 (児童生徒5職員2)

乗車人員合計 8人  
(児童生徒6職員2)

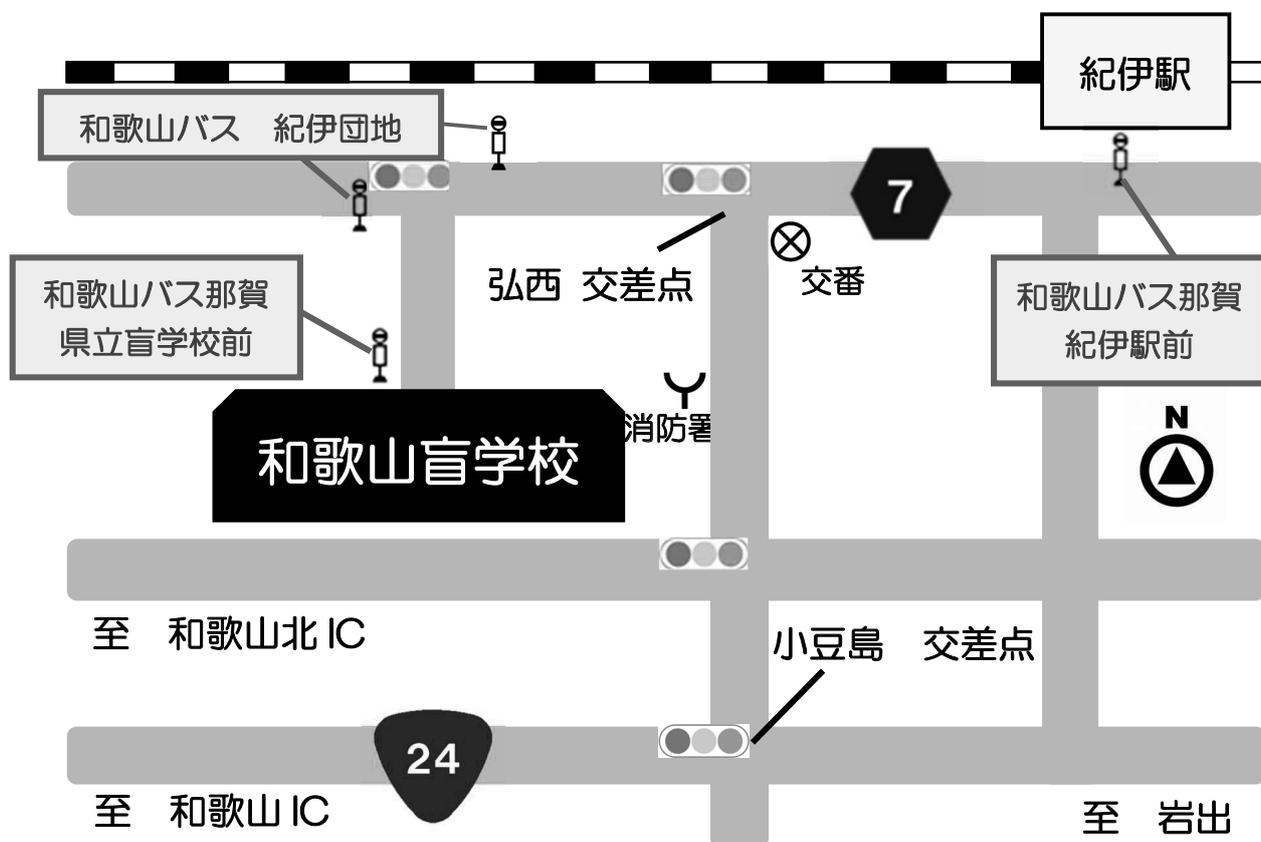
乗車人員合計 8人  
(児童生徒5職員2)

(2) 運行経路図

市内コース



## 学校への案内図



### ■ JR和歌山駅から

- 阪和線紀伊駅下車→和歌山バス（南海和歌山市駅行き）紀伊団地バス停下車徒歩約5分。  
→和歌山バス那賀（県立盲学校前行き）終点県立盲学校前下車。

### ■ 南海和歌山市駅から

- 和歌山バス（川永団地行き）紀伊団地バス停下車。徒歩約5分。

### ■ 車（和歌山インター、和歌山北インターから）

- 岩出、橋本、奈良方面、小豆島交差点を左折、突き当たり（右に交番）を左折。  
次の信号（右に鳥居）を左折、突き当たり。所要時間約10分。